

## 第42回全国豊かな海づくり大会北海道大会作品コンクール（作文）実施要領

### 1 趣旨

全国豊かな海づくり大会は、水産資源の保護・管理と海や湖沼・河川の環境保全の大切さを広く国民に訴えるとともに、つくり育てる漁業の推進を通じて水産業の振興を図るために、各都道府県で開催し、大会当日は式典や稚魚放流をはじめとした各種行事を実施している。

北海道で開催する第42回全国豊かな海づくり大会北海道大会（以下、「北海道大会」という。）は「守りぬく 光輝く 豊かな海」をテーマに、「豊かな海」の創出に取り組む本道の姿を全国に発信し、その取組の輪を広げ、水産業の一層の振興・発展を図るとともに、北海道の豊かで多彩な魅力を全国に発信したいと考えている。

このため、大会行事の一環として、次世代を担う児童・生徒に大会の開催意義や海の恵み、環境保全の大切さを広く理解していただくために作品コンクール（作文）を実施する。

### 2 主催・後援

#### (1) 主催

豊かな海づくり大会推進委員会

第42回全国豊かな海づくり大会北海道実行委員会

#### (2) 後援（予定）

農林水産省、環境省、北海道、北海道教育委員会

### 3 課題

#### (1) 題材

「海」、「川」、「森」、「水産業」に関するもの。（海・川・森での体験や思い出、海・川の幸や水産業について思うこと、豊かな海を守るためにできることなどに関するものなど）

#### (2) 応募資格

北海道内の小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校及び特別支援学校（小学部、中学部、高等部）の児童・生徒に限る。

#### (3) 募集部門

募集対象は、下記のとおりとする。また、各部門とも特別支援学校を含む。

ア 小学校低学年の部（1年生～3年生）

イ 小学校高学年の部（4年生～6年生）

ウ 中学校の部

エ 高等学校の部

#### (4) 原稿

ア 400字詰原稿用紙（B4横、縦書き）を用い、小学校低学年の部は3枚以内、小学校高学年の部、中学校の部及び高等学校の部は4枚以内とする。

イ 原稿の1行目に表題、2行目に学校名、学年、氏名（ふりがな）を明記すること。

ウ 筆記用具は鉛筆（HBより濃いもの）又はボールペン（黒インク）とし、「消せるボールペン」の使用は不可とする。

#### 4 募集(応募)方法

##### 校内選考

ア 学校単位で応募するものとし、小学校低学年の部、小学校高学年の部及び中学校の部は各部門3点以内（学年を問わない）、高等学校の部は5点以内（学年を問わない）を学校で取りまとめて第42回全国豊かな海づくり大会北海道実行委員会事務局（以下「事務局」という。）に送付する。

イ 校内で選考された作品の一覧表を作成する。また、校内で応募した児童・生徒の総数を記入し、上記アと併せて事務局に送付する。

#### 5 審査及び入賞・入選

##### (1) 道内審査

北海道実行委員会事務局は道内審査を実施し、中央審査の対象となる優秀作品（各部門それぞれ10点以内、計40点以内）を選定し、豊かな海づくり大会推進委員会事務局が指定する日までに、豊かな海づくり大会推進委員会事務局へ送付する。（別添「様式（中央審査提出用）」）

##### (2) 中央審査

豊かな海づくり大会推進委員会、農林水産省（水産庁）、環境省及び学識経験者等で構成する中央審査委員会は、道内審査を経て送付された作品を審査のうえ、次の入賞作品及び入選作品を決定し、道を通じて応募者に通知する。

##### (3) 入賞及び入選

入賞及び入選は次による。

##### (入賞)

全国豊かな海づくり大会会長賞	4点（各部門1点）
農林水産大臣賞	4点（各部門1点）
環境大臣賞	4点（各部門1点）
水産庁長官賞	4点（各部門1点）
北海道知事賞	4点（各部門1点）

(入選)

中央審査委員会に推薦された作品で、上記入賞以外の作品は全て入選（豊かな海づくり大会推進委員会会長賞）とする。

※中学校の部及び高等学校の部は、応募状況により部門を統合する場合がある。

6 表彰及び発表

入賞者は、北海道大会の式典行事において表彰する（表彰は代表者のみとなる場合がある）。

なお、全国豊かな海づくり大会会長賞を受賞した作品の中から、代表作1編を北海道大会式典行事において本人から発表していただく。

7 その他

(1) 旅費

豊かな海づくり大会推進委員会は大会会長賞、各大臣賞、水産庁長官賞、北海道知事賞の受賞者に対し、北海道大会の式典行事出席のための旅費（交通費及び宿泊費）を支給する。

旅費基準は、豊かな海づくり大会推進委員会の規定により、本人及び保護者1名に対し、在籍校所在地より大会会場までの往復経路とする。

(2) 入賞者及び入選者への通知

文書にて在学の学校を通じて行う。

(3) 選考基準

5のとおり、道内審査及び中央審査において審査員の相互の審査によるものとする。

様式（中央審査提出用）

第42回全国豊かな海づくり大会北海道大会作文コンクール応募者一覧表

部門	小学校低学年の部（1～3年生）		担当者名
番号	(ふりがな) 氏名	学年	(ふりがな) 学校名
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
応募者総数		名	

様式（中央審査提出用）

第42回全国豊かな海づくり大会北海道大会作文コンクール応募者一覧表

部門	小学校高学年の部（4～6年生）		担当者名
番号	(ふりがな) 氏名	学年	(ふりがな) 学校名
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
応募者総数		名	

様式（中央審査提出用）

第42回全国豊かな海づくり大会北海道大会作文コンクール応募者一覧表

部門	中学校の部		担当者名
番号	(ふりがな) 氏名	学年	(ふりがな) 学校名
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
応募者総数			名

様式（中央審査提出用）

第42回全国豊かな海づくり大会北海道大会作文コンクール応募者一覧表

部門	高等学校の部		担当者名
番号	(ふりがな) 氏名	学年	(ふりがな) 学校名
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
応募者総数			名

別紙

連絡表（作文コンクール受賞者）

賞名	●●●●賞（●●●の部）		
（タイトル）			
（ふりがな）		学年	性別
受賞者氏名			
生年月日	平成 年 月 日		
（ふりがな）			
同行者氏名	（ 続柄 ）		
（ふりがな）			
受賞者同行者住所	〒		
電話番号	TEL		
（ふりがな）			
学校名			
（ふりがな）			
学校所在地	〒		
電話番号	TEL		
宿泊の有無	月 日 有・無	月 日 有・無	
希望宿泊地			
旅費振込先	銀行		支店
	預金種目	普通	当座
	口座番号		
	（ふりがな）		
	口座名義		
経由  （公共交通機関を利用の場合、学校所在地より最寄りのJR駅又はバス停から集合地までの経路をご記入ください。）	例：〇〇バス停→〇〇バス停→（徒歩）→JR〇〇駅→到着地 バス料金：〇〇〇円		



バス、電車に乗られる場合は 料金をご記入下さい。)	
---------------------------	--

- ※1. 受賞者名等についてご確認いただき、訂正のある場合は訂正部分を明示してください。
2. ふりがな欄も必ずご記入ください。
  3. 令和5年7月28日(金)までに第42回全国豊かな海づくり大会北海道実行委員会(北海道水産林務部全国豊かな海づくり大会推進室)へご返送ください。
  4. 賞状等への氏名等の記入はこの連絡表の表示により行います。
  5. 旅費は登録された指定口座に大会終了後お振り込みいたします。なお、宿泊を希望される方のホテルは第42回全国豊かな海づくり大会北海道実行委員会事務局で指定させていただきますので、ご了承ください。
  6. 同行者については、本表に記載いただいた方のみ出席が可能です。変更はできませんのでご了承ください。